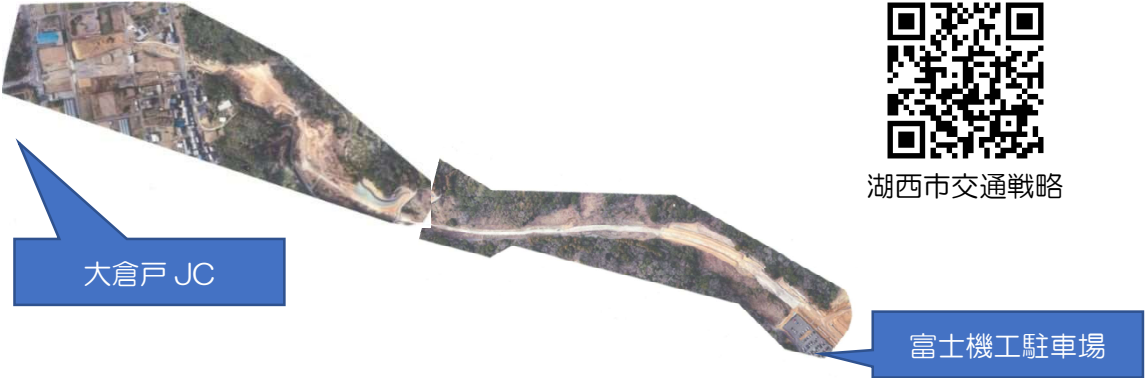


湖西市	所属議員	くすのき 浩幸
-----	------	---------

産業目線

【活動項目】（例）④産業道路環境		【活動テーマ】浜松三ヶ日・豊橋道路	
		市道大倉戸、茶屋松線整備 都市計画道路新所原駅嵩山線道路整備	
到達目標	○ 浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現 ○ PEVE 新工場設立までに、市道大倉戸、茶屋松線整備完了 ○ 都市計画道路新所原駅嵩山線整備推進による通勤車両、歩行者の安全確保（湖西市議会請願提出済）		
前回まで 活動状況	○ 浜松三ヶ日・豊橋道路期成同盟会参画 ○ 建設環境委員会における進捗確認		
今回 具体的活動	《市道大倉戸、茶屋松線整備》（R1 浜名バイパス大倉戸 IC - R301 湖西市古見） ○ 常任委員会（建設環境委員会）にて進捗状況確認 ・用地買収完了→R 1 大倉戸 JC 接続部工事推進（右写真）2024 年整備完了予定 ○ 田内県議と連携して、PVE 新工場予定地から R301 までの接続（新幹線オーバブリッジ）を具申→21 年度静岡県予算にてオーバブリッジ計画が予算化  大倉戸 JC 富士機工駐車場  湖西市交通戦略		R 1 大倉戸 JC 接続部  
今後の活動	○浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現については、アンケート調査を実施、2020 年 3 月末までにルートの方方向性を示すとの事であったが、湖西市、静岡県土木担当部署に確認したが、4 月 12 日現在、情報が無いとの事で、進捗を見守る。 		

— 17 —

湖西市	所属議員	くすのき 浩幸
------------	------	----------------

組合員目線

【活動項目】⑤子育て・教育		【活動テーマ】キャリア教育の推進
到達目標	○湖西版コミュニティスクールの設置、運営 ＞地域コーディネーター等、運営のための、しくみづくり	
前回まで 活動状況	○ 湖西市教育委員会学校教育課意見交換＞市内小中学校校長ヒアリング ○ キャリア教育コーディネーター資格取得	
今回 具体的活動 今回の進捗 【○】 ◎…予定前倒し ○…予定通り △…遅れあり	■令和2年12月定例会一般質問 「湖西版「令和の日本型学校教育」の構築を目指して」 【背景】 中央教育審議会において「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」に向けて答申が出され、湖西市教育委員会の考えを確認しました。 【質問】 ① 4月から始まる「コミュニティスクール」の概要と進捗について ② 遠隔・オンライン教育を含むICTを活用した学びの在り方について ③ 人口動態等を踏まえた学校運営や学校施設の在り方について 【回答】 ① 学校評議会から学校運営協議会に変更し、地域コーディネーターが学校と地域とのコーディネートを行う。（但し、市内9校/11校が4月から対応） ② タブレットは自宅への持ち帰りは禁止するも、学校休業時にはリモート授業が可能になるようルールの策定、家庭のwi-fi環境を調査し、対応を検討している。 ③ 学校規模の標準は12学級以上18学級以下と定められているが地域の実情に合わせ柔軟に対応が可能。令和3年度中に教育施設適正化検討委員会を開催し、第2期小中学校拠点構想を進める	【12月議会】  
今後の活動	○ コミュニティスクール：進捗を観察する。 ○ 地域コーディネーターが居ない学校についてのフォローと支援を行う。 各校コーディネーター間の情報交換、スキルアップのしくみづくりを提案する。（湖西市スポーツ・生涯学習課と調整中）	

(参考) 湖西市 テーマ登録背景

(1)産業目線 産業目線①～④項目から選択

湖西市取り組み項目	④ 産業道路環境
湖西市取り組みテーマ	浜松三ヶ日・豊橋道路の早期実現
選定理由・背景・思い	組織内議員の具体的な取り組み内容
新東名、東名三ヶ日 JC から国道 1 号 (23 号) 線をつなぐ「浜松三ヶ日・豊橋道路」のルートが具現化してきた。現在、湖西市を通るルートが南北に 3 ルート設定 (案) が示され湖西市としては R301 の渋滞緩和、市内企業の物流を鑑み、出来るだけ南側を通す必要がある。	○ 湖西市行政、議会、地域と地元企業の連携 ○ 研究会の立ち上げ ○ 常任委員会テーマとして調査研究

(2)組合員目線 組合員目線①～⑥項目から選択

湖西市取り組み項目	⑤ 子ども子育て支援
湖西市取り組みテーマ	キャリア教育の推進
選定理由・背景・思い	組織内議員の具体的な取り組み内容
湖西市の産業構造は市内企業の 85%が自動車関連企業であり、就労人口 27,000 人のうち、20,000 が自動車産業に関わる偏った産業構造にあります。今後、CASEに言われる大きな産業構造の変化を迎える中で、子供たちが予測が不可能と言われる社会に出た時に、どのような環境下でも、変化を恐れず、変化に対応していく能力を持って、生き抜くために必要な能力を身につける必要があります。	○ コミュニティスクール事業の推進 ○ 小中学生へのキャリア教育の充実